

權乃至外相の態度に變化を來し妥協讓歩に依て正面衝突を避けんとするに腐心焦慮の傾向歴然として掩ふべからざるものあり、果せる哉此兆を察知せる聯盟は從來の態度を豹變し、彼の排日派の巨頭と目せらるゝチエック外相の如きは日本讓歩の色視へたりと放言し、帝國に向つて讓歩を迫り我全權は之を擊退するの勇氣なくして外交官一流の請訓に次ぐに請訓を以てする屬僚式外交に立ち歸り我外相も亦全權と呼應して外相一流の大勢順應主義を標榜し茲に再び霞ヶ關獨特の追従軟弱外交に復歸し吾人をして滿洲問題の前途に不安の念を抱かしむるに至れるは大に遺憾とする所なり。

説を爲す者あり曰く、「機を視るに敏にして老猾なる現内閣の壽命の將に盡きんとするを洞察し聯盟脱退の重大責任を回避して之を後繼内閣に負はしむるの魂膽に基き曠日彌久の策を弄しつゝあるものなり」と、果して此説をして真ならしめば外相は國家を顛弄し國民を欺瞞するものにして其非斷じて容すべからざるなり。

由來我帝國は歐洲戰後國際聯盟の創立當時より常任理事會を構成する五強國委員の一員として誠心誠意聯盟の爲め努力し貢獻せる所尠からざるに偶滿洲問題提案以來東洋事情に通曉せざる聯盟内の諸小國は自國擁護の見地に基き帝國に不利なる行動を繼續し歐洲戰役同盟邦たりし英佛伊の諸國も舊誼を顧みずして小國に權を通じ吾人をして永く聯盟に止まるの百害あつて一利なきを自覺せしめ人種宗教國情環境等を全然異にする歐洲聯盟に帝國が參加したるは吾人の一大失敗たりしを衷心悔悟せざらんと欲するも得べからざるに至らしめたり帝國の聯盟脱退後帝國に對し制裁を加ふると否とは聯盟の自由にして之に對し自衛權を行使するも亦帝國の自由に屬す但之よ

り生ずる平和擾亂の全責任は聯盟の負擔すべきは當然たるを以て帝國は脱退と同時に正々堂々正義の主張を世界に聲明して其責任を明にするの方法を講ずるを以て足れりとす。

## 二

滿洲追放の不良兒學長は滿洲領熱河に兵力を集中し山海關方面の我軍の側面を脅威すると同時に滿洲内地擾亂の根據地を構成しつゝあつて其不逞の舉は最早之を默視するを許さず、速に之を掃蕩して此禍根を除くの手段を講ずるの必要ありとす其實行に關しては吾人は我忠勇なる關東軍に信賴し萬遺算なきを確信するも對聯盟霞ヶ關の魔手が軍の作戰行動を制肘し曩日の錦州攻撃に髣髴たる事件を惹起して國民の失望と憤慨とを招來するが如き不祥事の發生せざらん事を熱望する次第にして關東軍將卒の奮起を望むの念轉た切なるものあり。

(昭和八年二月十日稿)

## 全國大遊説に際して

陸軍大將 田 中 國 重

我帝國は今や内憂外患の一大國難に直面し其危きと宛然累卵の如し。吾人は此曠古の危機難局を直視し、國